

幼保連携型認定こども園

第1ドリーム保育園 便り

11月号
発行日
平成30年11月15日(水)

発行責任者
永園 知加

読書の秋
絵本は「生きる力」を育てる

脳科学から見た 読み聞かせ

読み聞かせは、想像力を伸ばす、コミュニケーションを養う、語彙が増えるなど、知育的効果がうたわれていますが、脳の中でも情動（恐怖や驚き、喜怒哀楽などの感情）をつかさどる、大脳辺縁系という箇所が活発に活動していることがわかりました。脳は体の一部ですので、使わなければ働かなくなりません。大脳辺縁系は喜怒哀楽をしっかり体験しないと正しく機能するようにならないのです。実体験・絵本の読み聞かせの体験からも活発に働かせるほど、その機能は高まります。



読み手と子どもの絆をつくる

読み聞かせのもう一つの大きな効用は「絆づくり」にあります。読み聞かせを通じて、読み手の大人は子どもをよく見る、観察する習慣がつかえます。子どもは“嬉しい”“楽しい”思いをして、モチベーションが上がりますし、自分の事を見ていてくれたという子どもの安心感や信頼感にもつながります。

～ 著：保育ナビ：泰羅雅登（東京医科歯科大学 教授）～



ドリーム保育園では、子ども達が、絵本をいつでも手に取れるように置いています。保育の中でも、子ども達の体験と重なる絵本を読んだり、伝えたいメッセージの内容の絵本を保育士が選び読んでいます。乳幼児期に心に残る絵本が見つかったら嬉しいです！

裏庭が広がりました！！

お迎えの時、子ども達の遊んでいる近くに行くと子ども達がどんな遊びをしているのか、何が楽しいのか声を聞いたり様子を見たりご自由に裏庭に出てみてください☆ 出入口にはサンダルも用意してあります！



年長として生きる (アクティブラーニング活動)

～つながる思い～



7月から11月までの約3ヶ月の間、第1・第2ドリームの年長と一緒に生活を送ってきました。園生活最後の1年となる年長児。「仲間」を意識し共に育ち合いながら自分の課題に向かい、出来ると信じて取り組むことの大切さを、年長児の活動を通して学び成長してほしいという保育士の願いから、共同生活が始まりました。

この3ヶ月の間、裏庭で道具を使った川作り、散歩先でのルール遊びなど日々の遊びを思い切り楽しむ中でお互いに仲良くなり「お泊まり保育」や「運動会」を経て、子ども達の関係は更に深まりました。【自分の力を信じて何事にも諦めない強い心】【出来た子は頑張っている子にパワーを分けてあげる気持ち】を育む経験を重ねながら、1人ひとりが自分の課題を考え取り組み、自分に自信をもてる子へと育つ年長児の保育活動を続けてきました。

11月…第2の年長が自分たちの園へ帰るときがきました。

～帰りにたくない…帰らなきゃ…揺れる心～

この3ヶ月の間一緒に過ごした仲間と、これから離れて生活することに寂しさを感じる子ども達は、まだ帰りにたくない…でも第2のお友だちが待っている…葛藤する心が芽生え、どうしようか話し合った結果“離れても仲間”との気持ちを確かめることが出来ました。そんな思いから、伝えたい気持ちをやりとりしよう！！と**手作りのポスト**をつくることになりました。

～ポスト作り計画！！～

お互いの伝えたい気持ちをやりとりするための“ポスト”はどんなのがいいか、それぞれのお家のポストを調べて発表し、それを参考にどんな形にしていこうか、意見を出し合いデザインしていききました。「スライド式のポスト」と「上から入れる屋根付き（雨をしのぐため）」の2種類を作ることに決めました。のこぎりやかなづちなど本物の道具を使いながら、仲間と同じ目的に向かいイメージした物を形にするために真剣な眼差しの子どもたちでした。



11月 行事予定

- ・15日(木) 避難消火訓練
- ・16日(金) 愛情弁当の日
- ・20日(火) 収穫祭～バイキング給食～
- ・28日(水) 誕生月のお祝い給食

個別面談を予定しています



12月 行事予定

- ・14日(金) 誕生月のお祝い給食
- ・11日(火) 避難消火訓練
- ・18日(火) 愛情弁当の日
- ・27日(木) 餅つき

個別面談を予定しています

年末年始の休み12月30日(日)～1月4日(金)

